

令和6年第6回敦賀市教育委員会 議事録

1. 日 時 令和6年5月29日(水) 13時15分～14時10分

2. 場 所 市役所3階 301会議室

3. 出席者

教 育 長	上 野 弘	教育長職務代理者	岸 本 松 則	
委 員	中 宮 智 子	委 員	堺 啓 輔	
委 員	宮 川 和 彦			
事 務 局	事 務 局 長	織 田 一 宏		
	教育総務課長	多 賀 隆	学校教育課長	戸 羽 嘉 和
	生涯学習センター所長	鈴 木 一 良	文化振興課長	中 川 有 希
	総合運動公園所長	橋 詰 裕	学校教育課課長補佐	川久保 洋 子
	教育総務課課長補佐	山 本 久美子	教育総務課係長	刀 根 慶 太
	教育総務課職員	森 川 友		

4. 内 容

(1) 教育長あいさつ

(2) 報告事項

○第1号「令和6年第5回敦賀市教育委員会議事録の件」

(教育総務課長説明)

異議なく了承

○第2号「第30回禁煙ポスターコンクール 後援の件」、第3号「令和6年度第9回「家族のきずな」エッセイ募集事業 後援の件」、第4号「第62回福井県中学校夏季総合競技大会 第19回福井県中学校秋季新人競技大会 第67回福井県中学校陸上競技大会 共催の件」、第5号「二州地区中学校夏季総合競技大会 二州地区中学校陸上競技大会 二州地区中学校秋季新人総合競技大会 二州地区中学校駅伝競走大会 共催の件」、第6号「ミニFPフォーラム 後援の件」、第7号「寄附採納の件」、第8号「第45回むし歯予防全国大会 in FUKUI 後援の件」

(学校教育課長説明)

異議なし

○第9号「まるかじり夏キャンプ2024 後援の件」、第10号「ふるさと歴史探求～敦賀をもっと好きになろう～ 後援の件」

(生涯学習課長説明)

異議なし

○第 1 1 号「第 7 5 回福井県総合美術展 後援の件」、第 1 2 号「ピアノ陽楽会 創立 5 0 周年記念演奏会 後援の件」、第 1 3 号「吟技向上吟詠発表会及び昇伝審査会 後援の件」
(文化振興課長説明)

異議なし

○第 1 4 号「第 3 2 回敦賀市長杯気比の松原招待サッカー大会 後援の件」、第 1 5 号「ソフトバレー・アクティブリーダー養成講習会 後援の件」、第 1 6 号「第 2 回 JJSL CUP IN 敦賀 共催の件」

(スポーツ振興課長説明)

異議なし

○追加第 1 号「令和 6 年 6 月議会 予算事業概要の件」

(事務局長説明)

異議なし

(3) 審議事項

○第 2 0 号「令和 6 ・ 7 年度敦賀市社会教育委員委嘱の件」

(生涯学習課長説明)

全会一致承認

○第 2 1 号「令和 6 ・ 7 年度敦賀市少年愛護センター運営委員委嘱の件」

(生涯学習課長説明)

全会一致承認

○第 2 2 号「敦賀市少年愛護センター補導員委嘱・解嘱の件」

(生涯学習課長説明)

全会一致承認

○第 2 3 号「敦賀市立少年自然の家運営協議会委員委嘱の件」

(生涯学習課長説明)

全会一致承認

○第 2 4 号「敦賀市立図書館協議会委員委嘱の件」

(生涯学習課長説明)

全会一致承認

○第25号「令和5・6年度敦賀市スポーツ振興審議会委員任命の件」

(スポーツ振興課長説明)

全会一致承認

○第26号「令和6・7年度 公民館運営審議会委員委嘱の件」

(生涯学習課長説明)

全会一致承認

(4) その他

公立幼稚園の現状と方向性について

(学校教育課説明)

現状としまして、公立幼稚園の松陵幼稚園ですが、福祉保健部と連携しながら認定こども園化することで調整を続けているところです。今福祉保健部で保育園の統廃合の計画を進めているのですが、令和6年2月に3つの統廃合施設の設置運営方針が決定されました。資料中ほどに地図があるのですが、左上が松原エリア、左下栗野エリア、右上市街地エリアの3つについて具体的な統廃合の運営方針が示されたところです。まず松原エリアについては、櫛川保育園と近隣教育保育施設を対象に民設民営で、令和9年4月を開設とし、場所は市営野球場駐車場です。栗野エリアは、栗野保育園と櫛林保育園を公設公営で、令和10年4月を開設とし、場所は櫛林地区です。市街地エリアは、つるが保育園と三島保育園を民設民営で、令和12年4月を開設とし、場所は未定です。松陵幼稚園についてもこの流れを踏まえながらということになりますが、市街地エリアについては開設が遅く場所も決まっていないこともあり、現実的には松原エリアか栗野エリアの開設に合わせる形でこども園化を進めるということが現実的な選択肢かととらえております。それぞれ松原エリアと栗野エリアについてメリット、デメリットがありますので、整理をしました。まず松原エリアで考えますと、メリットは、令和9年4月ということで、スタートが早いということで、市の財政的な効果が見込まれます。資料下段に令和5年度の決算額の内訳を記載してあります。また同じ松原エリアになりますので、保護者の送迎の負担はあまり変わらないかと考えています。デメリットですが、令和8年で閉じると、令和9年から松原エリアが民設民営となり、栗野エリアは公設公営なのですが令和10年から開設となるので、令和9年度については公立の幼児教育施設が存在しない時期が生じてしまいます。幼稚園に通わせたいという場合には、私立の幼稚園しかないという1年間が発生してしまうということがデメリットと捉えています。続いて栗野エリアですが、令和9年末まで松陵幼稚園を継続させれば公立での幼児教育が途切れずに行えるということ。デメリットとしますと、1年間経費がかかるということ、それから同じ幼稚園でと考えると、松原から栗野の方へ送迎の距離があるので負担が増えるということです。次のページの園児数ですが、敦賀市にいるお子さん全体から令和6年度を基本として、保育所・幼稚園に通われているお子さんが98%、そのうち2.5%の方が松陵幼稚園にいます。この数字をもとに推計しますと20名前後のお子さんが入園希望されるという

ことが期待されるのですが、現在松陵幼稚園に在園するお子さんの9名、約4割の方が松原エリアのお子さんですので、令和9年に松原エリアに認定こども園ができるとなった段階で、これぐらいの方がもしかすると松原エリアに希望されて、松陵幼稚園の園児がぐっと減ってしまうということが懸念されます。これが栗野エリアのデメリットの2つ目です。敦賀北幼稚園を募集停止にする際もお伝えはしましたが、子供の数が減りますと、集団の中で育んでいきたい部分が果たせないということも危惧されます。これが栗野エリアのデメリットの3つ目です。今考えていますこのような状況を受けての方向性の検討ということですが、今年度敦賀北幼稚園が閉園し、松陵幼稚園だけとなったのですが、親御さんの話を聞いていると、私立の幼稚園では特別な支援が必要なお子さんが入園を希望した際に、スタッフを増員させることが難しいというような事情から、受け入れが難しいというケースもあると聞いております。公立幼稚園の場合ですと、そのあたりもスタッフも手厚くしながら受け入れもできるということ、制服やカバンがリユースになると保護者の経済的な負担も軽く済むということ等を踏まえまして、今後についてですが、このような役割を果たすには、公立の園の機能を継続的に持続することが大事であると考え、財政的な負担や園児数減少等の課題もありますが、令和10年度開設予定の栗野エリアの認定こども園と統合する方向で、今後調整をしていきたいと考えております。ご意見等ございましたらお願いいたします。

岸本委員…公立の意義が書いてありますがその通りだと思います。私立は営利に反するようなことはできないので、公立であれば補っていける。栗野エリアは公設公営ということなので特別なこどもの受け入れもできますね。他の松原エリアや市街地エリアは民設民営ということは私立とは違うのですか。

事務局長…私立です。計画がしっかりしたときに保育課で公募をするということになると思います。さみどりのように補助金を渡して建てていただいて運営もすべて委託という形になると思います。

岸本委員…特別なお子さんの受け入れは、民設民営でも受け入れることは可能なのでしょうか。

事務局長…基本的には発育の遅れがあったり、対応の難しいお子さんにつきましても、保育園と協議しながら、市の担当部局が対応することになると思います。当然送迎などの保護者の負担も出てきますので、そのあたりでなるべく近くの保育園でということであれば、こういった私立の保育園とも協議しながらになると思います。それが難しいのであれば、近くの公立や看護師が配置されている施設に入園いただく形になるかと思います。全園で看護師を配置することは難しいと思いますので、医療的ケアが必要なお子さんについてはそういった対応になるかと思います。

岸本委員…さみどりさんに補助金を出すということでしたが、こういった統廃合で民設民営の保育園ができていったときに、公設公営の場合は対応してもらえたけれど、民設民営の場合は対応できるのかとなったときに、市から支援等を行うことによってそれに対応していくといった措置がとれるのですか。

事務局長…加配の保育士については、国や県の補助がありますので、ただ人自体を雇用できる

のかといったこともありますので、そのあたりは色々な補助メニューはございます。
岸本委員…最悪の場合、公設公営で対応できるところへ、遠距離になって負担になってもそこに行くしかないということですね。

事務局長…今現在もいくつかの公立の保育園に看護師を配置していると思いますので、医療的なケアが必要なお子さんについてはその保育園に入園いただいていると思います。

岸本委員…最終的に公立保育園はいくつ残るのですか。

事務局長…単独で保育園として残るのは、沓見保育園、黒河保育園、東郷保育園、気比保育園になるかと思います。

岸本委員…人口減少を食い止めようと、各市町もいろんな行政サービスによって人を呼寄せたり子育てをしやすい街づくりで、人口減少を少しでも止めようとしていますね。保育園の運営についてもいろんな特殊な方のニーズに対応できる施設が多いに越したことはないと思います。経済的な理由で減少していくのは寂しい気がするので、他に対応できるところで負担ができるだけ少なくできる方法が望ましいと思い質問させていただきました。

事務局長…公立の保育園はかなり年数がたっており、栗野、櫛林、つるが、三島等古い施設が多くございます。今のニーズに合った施設にすることと、岸本委員がおっしゃったようにソフトのサービスもしっかりしてあげられるかが、これからの子育てに重要なことだと思っておりますので、福祉部とも連携をとって松陵幼稚園についてもいろいろ考えていきたいと思います。

堺 委 員…今何を検討しないといけないのかがはっきりしないのですが、認定こども園はこの計画でできていくのですね。では松陵幼稚園をどうするかということですよ。タイミングの問題なのですか。松原エリアの認定こども園は民設民営なのに、そこに統合という話はあるのですか。要は、どのタイミングで松陵幼稚園を閉めるのかということではないのですか。

学校教育課長…はい、そうです。松原エリアのタイミングで閉じるのか、栗野エリアのタイミングで閉じるのかということです。栗野エリアの場合は公設公営なので、同じ公設ということで統合という意味合いです。松原エリアの場合は民設民営なので、別物になるので併せて廃園になるということです。そのタイミングがずれることによって、公立がないということが起こるので、それをつくるのかつくらないのか。つくろうとすると経費もかかってくるのですが、公立がずっと続いた状態で、栗野エリアのタイミングまではいきたいという方針です。

堺 委 員…認定こども園を公立で1個しかつくらないのなら、それができた段階で公立幼稚園を閉めるしかないと思うのですが、そういった単純な話ではないのですか。

事務局長…今までの保育園を民営化したときの傾向を見ますと、通常入園される親御さんにとっては、公立、私立といった感覚がないようで、ご自宅やお勤め先の近くなど、次の学校へのステップアップを考えておりますので、新しい園ができますとそこに入園者数が増える傾向があります。そうしますと、先ほど課長が申しましたとおり、

令和9年に民設民営ができたときに松陵幼稚園の数が想定する21名いるかどうか分かりません。おそらく少なくなると想定しております。北幼稚園については長期の計画を結ばずに少なくなって閉園したので、しっかりと計画をつくって年度をお示しすることによって、周知して選択の部分を早めにいただける形をとりたいと思い、こういった方向性で進めたいということをご相談しております。

中宮委員…私も、松陵幼稚園はこの人数がいるかというといないと思います。栗野保育園が少なくなったら、櫛林保育園と合併するのですか。

学校教育課長…いいえ、もうその2園は閉じて、新しい園をつくります。

中宮委員…ここに残っている子だけはいくわけではなく、新たに募集するということなのですね。松原エリアも櫛川保育園と近隣の保育園と松原保育園も同じですね。

学校教育課長…松原保育園はまだわからないです。櫛川保育園と近隣の保育園です。

事務局長…松原保育園は事業団がしておりますので、どうなるかはわかりません。形は違いますが、和久野と新和を閉じまして、新和さみどりをつくっていただきました。それは民設民営でしたが、栗野エリアは櫛林と栗野を閉じて、どこか新しい場所に2つを統合して公設公営の園をつくることになります。

中宮委員…さみどりとかぶるのじゃないかなと思います。

最近、障害を持っている子を受け入れる園ができてきていますね。中郷西は看護師がいるのでだいたいそこに行っていますね。今度新しく統合したときに、そういったことができるようになるといいですね。

事務局長…施設が古くなったから1つにするといったことだけではなく、それにプラス、中宮委員がおっしゃったように、栗野と櫛林ではできなかったけれども、栗野と櫛林で認定こども園ができたときには、そこでそういったことができますといったことを保育課で掲示はされるのではないかと思います。

中宮委員…新しい園ばかりできていっても子どもの人数が減ってくると勿体ない部分もある気がします。それだったら、親御さんが仕事に行く道中で預けられる方が、いくつもつくるよりいいと思います。

宮川委員…市としては最終的には公立保育園は、市街部の東郷、沓見などをよけて栗野エリアに1つだけでもつという考えでしょうか。そのあとも三島も統合予定だというと、公設は栗野エリアに1つだけあってあとは民営化していくという形になるのでしょうか。

事務局長…今現時点ではこちらにお示しした、ここまで決まっている状況です。

宮川委員…ここまで決まっているということは、市中心部の保育園はすべて民営化されるということですね。

学校教育課長…今こちらの地図が認定こども園の計画を示してありまして、例えば栗野地区ですと、栗野保育と櫛林保育園の公設のものを1つ栗野エリアに認定こども園としてつくり、黒河保育園は残していきます。黒河や沓見などは残していく予定と聞いています。

宮川委員…中心部にある医療的ケア児を見ている三島は民営化して、市が直接関与するのは、栗野地区だけになるでしょうという見通しですか。

学校教育課長…認定こども園としては4つつくると聞いています。

宮川委員…三島保育園は医療的ケア児の中心的な園ですので、そこが民営化されると、必ずどこかで責任をもってすることが大事になってくるので、統廃合の時に案として入れていただいて、つないでいただきたいと思います。

学校教育課長…栗野地区には、敦賀医療センターがありますので、距離が近いということで、そことの連携、栗野地区にできる公設の方にそういった機能をつくれる環境があるのではないかという見解は聞いております。

今ご意見をいただきまして、公設は途切れないようにということと、松原エリアにできたときにぐっと人数が減るか可能性があるのですが減ったとしても公設は続けていくという方法で考えていきたいと思いますので、よろしくお願いいたします。もう1枚スケジュールの資料ですが、現在2歳児のお子さんが、松原エリアに令和9年度にできたタイミングで松陵幼稚園を閉じたとすると、4歳児で入園したにも関わらず5歳児の時に松陵幼稚園がなくなるということも想定されますので、令和7年度に募集するタイミングまでにはきちんと固めてお示しする必要があると思いますので、よろしくお願いいたします。

教 育 長…ではまた折をみてまたお話をさせていただきたいと思いますのでよろしくお願いいたします。

・次回教育委員会 令和6年7月4日（木） 午後1時15分～ 消防庁舎2階 防災研修室1にて開催

教 育 長 上 野 弘

教育委員（職務代理者） 岸 本 松 則

教育委員 中 宮 智 子

教育委員 堺 啓 輔

教育委員 宮 川 和 彦

議事録作成者 教育総務課 刀根 慶太